

本日の資料はこちらからダウンロードできます →



# 2025年度 第2回

## まるっと協議体 全体会

私たちが生活支援コーディネーターです



# 本日の次第

1, 新しい参加者紹介

2, 生活支援体制整備について

3, 情報提供

①5つのプロジェクトの進捗と今後

②自治会・管理組合からヒアリングしたニーズ報告

③今後の第1層生活支援体制整備事業の動き

4, 本日のテーマを基に意見交換とアイディア交換

(一緒にできそうなこと・取り組みのアイディアなど)

本日の資料はこちらからダウンロードできます →



## 1, 新しい参加者紹介

本日の資料はこちらからダウンロードできます →



## 2, 生活支援体制整備事業について

本日の資料はこちらからダウンロードできます →



### 3, 情報提供

- ①5つのプロジェクトの進捗と今後
- ②自治会・管理組合からヒアリングしたニーズ報告
- ③今後の第1層生活支援体制整備事業の動き

「支援や介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らす」

だから

「地域の支え合いの体制づくり」をする

そのために



地域の実情に応じて 住民等の多様な主体が参画 多様なサービスを充実

そのために

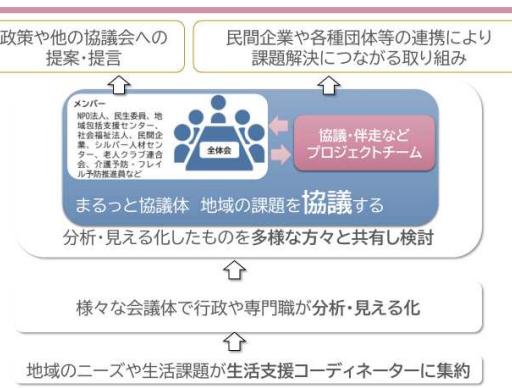
それとともに

- ・地域活動の訪問など地域コミュニティで把握
- ・地域包括支援センターの個別支援から
- ・企業へのヒアリング
- ・自治会・管理組合にヒアリング
- ・地域資源把握

地域ケア会議（ケース個別・自立支援ケアマネジメント）  
→ 地域包括支援センター内の地域課題調整会議  
【課題検討先の振り分け】

生活支援コーディネーター定例会

まるっと協議体 全体会 ➡ プロジェクト



- 訪問B検討会 : 現在の互助のサービス（訪問B）を、新しい訪問Bへ
- 生活支援PJ : 制度すき間の対応、どうする？を検討する
- 移動PJ : 重点地域のニーズ・住民意識をさらに把握し、取り組みの検討へ
- 啓発PJ : 情勢や自分事として老いることを前向きに捉えるための啓発を
- 活躍PJ : 自分の得意を活かして、活躍しながら前向きに暮らす環境づくり

## 目的

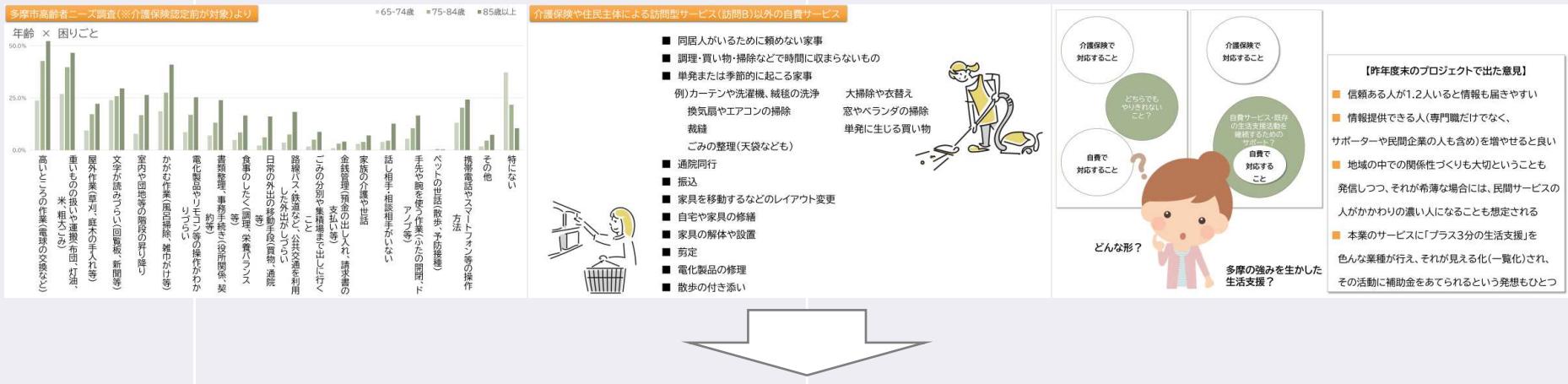
## 多様なニーズに応えられる生活支援の選択肢が増える

昨年度

多摩市の高齢者的生活支援ニーズ整理して実情把握

する事

ニーズ調査や実態調査、介護保険事業所調査の読み取り



より細やかな生活支援の体制整備を検討するために

(互助を促進するサービス)訪問B検討会と生活支援プロジェクトの 2つに分かれることに

今年度	地域のインフォーマルな互助の質・量を把握	地域で行われている制度のすき間の生活支援情報の収集と整理する
今年度後期	高齢者がインフォーマルな生活支援情報を得やすくなること	把握した情報の発信の準備をする
今後(案)	多様な主体が生活支援活動を行える環境整備	仕組みや憲章の整備について検討する
2~3年後	選択肢が維持・拡大すること	多様な団体とNWを持ち、仕組みの見直しを繰り返す

# 目的 地域の中で支え合い・助け合いが行われる (公的な支援により活動がサポートされる)

	目的	する事
昨年度 ※生活支援PJ の中で	訪問Bの現状(活用・サポーター・制度)の整理をし、課題把握	調査・ヒアリング 厚労省資料などの読み取り・共有・協議

住民主体による生活支援サービス(訪問B)

```

graph TD
    A["■ 課題1  
① サポーター不足  
※転出・死亡・除外希望・職員を除いて  
228名"] --> B["② 実働しているのか"]
    B --> C["事業所活動実績ヒアリング  
社協： ゆづり葉： いーち： 永山：" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"/>
    D["概ね、高齢者人口の多いエリアにはサポーター養成数はいる  
高齢者人口のわりに、他に比べ少ないエリアも数か所あった"]
    C --> E["実態調査後、改めてフォローアップの  
交流会を開催(予定)"]
    D --> F["生活支援コーディネーターが、該当エリアの自治会・管理組合に訪問  
団体によって感触も様々  
働きかけについて検討できそうなエリアもあった"]
    E --> F
    
```

サービスB（通所・訪問）の概要・意義

1 “助け合い”と総合事業の「B型」の関係

“助け合い”とは、住民が行うサロンや見守り活動、訪問による家事援助、おかげのすそわけ、ゴミ出し支援、居場所づくりなど、住民が互いに行う生活支援の活動、共に運営・参加する通いの場などを指す。

総合事業の「B型」（通所型サービスB、訪問型サービスB）は、この“助け合い”的活動を、補助という仕組みで推進支援するもの。

2

```

graph TD
    A["通所型  
サービスB"] --- B["一般介護予防  
通いの場"]
    A --- C["住民主体の  
助け合い活動"]
    B --- D["訪問型  
サービスB"]
    C --- D
    
```

より細やかな生活支援の体制整備を検討するために

(互助を促進するサービス)訪問B検討会と生活支援プロジェクトの 2つに分かれることに

今年度前期	今ある・今後できる住民同士の助け合い活動活性化	他自治体取り組みの共有 地域の助け合い活動の実情の共有
今年度後期		新たな訪問Bの制度の大枠を作成し、市に提起

# 目的 高齢者が足腰が弱くとも、 今の生活が継続できるための移動の選択肢が増える

	目的	する事																														
昨年度	<p>多摩市の高齢者の移動にまつわる課題の整理</p> <table border="1"> <caption>主な介護者の方が不安に感じる介護等 在宅介護実態調査(R5)の要支援者のみ抽出(N=320)</caption> <thead> <tr> <th>原因</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>外出の付き添い、送迎等</td><td>20.0%</td></tr> <tr><td>その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)</td><td>15.0%</td></tr> <tr><td>入浴・洗身</td><td>10.0%</td></tr> <tr><td>食事の準備(調理等)</td><td>10.0%</td></tr> <tr><td>認知症状への対応</td><td>10.0%</td></tr> <tr><td>金銭管理や生活面に必要な諸手続き</td><td>10.0%</td></tr> <tr><td>夜間の排泄</td><td>10.0%</td></tr> <tr><td>屋内の移動・移乗</td><td>5.0%</td></tr> <tr><td>日中の排泄</td><td>5.0%</td></tr> <tr><td>服薬</td><td>5.0%</td></tr> <tr><td>食事の介助(食べる時)</td><td>5.0%</td></tr> <tr><td>衣服の着脱</td><td>5.0%</td></tr> <tr><td>医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)</td><td>5.0%</td></tr> <tr><td>身だしなみ(洗顔・歯磨き等)</td><td>5.0%</td></tr> </tbody> </table>	原因	割合	外出の付き添い、送迎等	20.0%	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	15.0%	入浴・洗身	10.0%	食事の準備(調理等)	10.0%	認知症状への対応	10.0%	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	10.0%	夜間の排泄	10.0%	屋内の移動・移乗	5.0%	日中の排泄	5.0%	服薬	5.0%	食事の介助(食べる時)	5.0%	衣服の着脱	5.0%	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	5.0%	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	5.0%	<p>ニーズ調査や実態調査、介護保険事業所調査の読み取り 重点エリアの選定</p>
原因	割合																															
外出の付き添い、送迎等	20.0%																															
その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	15.0%																															
入浴・洗身	10.0%																															
食事の準備(調理等)	10.0%																															
認知症状への対応	10.0%																															
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	10.0%																															
夜間の排泄	10.0%																															
屋内の移動・移乗	5.0%																															
日中の排泄	5.0%																															
服薬	5.0%																															
食事の介助(食べる時)	5.0%																															
衣服の着脱	5.0%																															
医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	5.0%																															
身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	5.0%																															
今年度前期	<p>重点エリアの高齢者のニーズ・課題認識把握</p>	<p>重点エリア自治会へ働きかけて、 アンケート調査・集計</p> <p><b>多摩市高齢者の移動にまつわるアンケート</b></p> <p><b>【目的】</b> いつまでも健幸に過ごせるまちづくりを行う生活支援体制整備事業の一環として、高齢者のみなさまの移動をテーマとした調査です。地域がどのようになっていくと、暮らしやすくなりますか? 多摩市上なるか、そこに暮らす皆様の声をお聞かせください。</p> <p><b>【自己紹介】</b> 多摩市内には、多摩市高齢支援課から委託を受けて生活支援コーディネーターが各地域担当を含め計4名配置しております。行政や多様な機関と連携しながら、高齢者の生活支援の体制整備強化を目指して活動しております。</p> <p><b>【調査の概要】</b> この度、2023年に行われた多摩市介護予防日常生活圏域ニーズ調査「在宅介護実態調査」分析した結果、今後移動(駅・駅前・バス停・買い物先)などで大変なところに関する課題が抽出されました。それらの課題を中心に、実際にお問い合わせの声を聞く調査を行います。</p> <p><b>【お願い・お知らせ】</b> このアンケートは、個人を特定しない状態で多摩市の事業に活用させていただきます。ただし、調査へのご協力よろしくお願いいたします。なお、結果は集計し、個別(多摩市高齢支援体制整備事業部)で分析・活用している河北医療財團多摩事業部 地域づくり推進室のホームページ等で公開させていただきます。</p> <p>下記についての調査となります</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>買い物に伴う移動について</li> <li>趣味活動や娯楽(自分が楽しむための活動)に伴う移動について</li> <li>通院に伴う移動について</li> <li>多摩市の移動について</li> <li>あなたの今の状態について</li> </ol> <p>主管 多摩市 高齢支援課 実施主体・協・沿用料 多摩市 施設・生活支援コーディネーター(河北医療財團多摩事業部 地域づくり推進室) TEL 070-3196-926(以下) 070-3215-136(机内) 第2種生活支援コーディネーター(西部地域包括支援センター) 042-389-6800</p>																														
今年度後期	移動にまつわる現状共有と課題整理	結果を住民へ共有し、課題解決のニーズがあれば協議																														
今後(案)	買い物や受診等の移動の不便さ改善・選択肢を増やすこと	移動に関する試行																														
2~3年後	買い物や受診以外の移動の不便さ改善・選択肢を増やすこと	取り組み拡大の検討																														

## 活躍PJ

目的 高齢者の社会参加・参画が拡大する		
	目的	する事
今年度前期	高齢者の社会参加・参画の検討すること	現在の取り組みを確認する
今年度後期	高齢者の活躍・活動の後押しをしやすくすること	情報収集・整理・発信準備をする
今後(案)	活躍・活動の選択肢が増えること	多様な主体と、参加・参画を増やす(より広い範囲から情報収集する)
2~3年後	高齢者の多様な社会参加・参画を拡大すること	リアルタイムでの情報発信について検討をする

## 啓発PJ

目的 高齢者が自分らしく、幸福感を持って暮らせる		
	目的	する事
今年度前期	多摩の高齢者支援を行う中での課題整理	現在の高齢者の準備や老いへの向き合い方について現状を共有する
今年度後期	多摩市で老いることをポジティブに捉えてもらうこと	多摩で楽しく老いている方や準備している方の情報収集と発信の準備をする
今後(案)	多摩市で楽しく老いるためのライフスタイルの啓発	発信チャンネルの拡大の検討
2~3年後	時勢にあった啓発	多数のチャンネルで発信の継続をする

本日の資料はこちらからダウンロードできます →

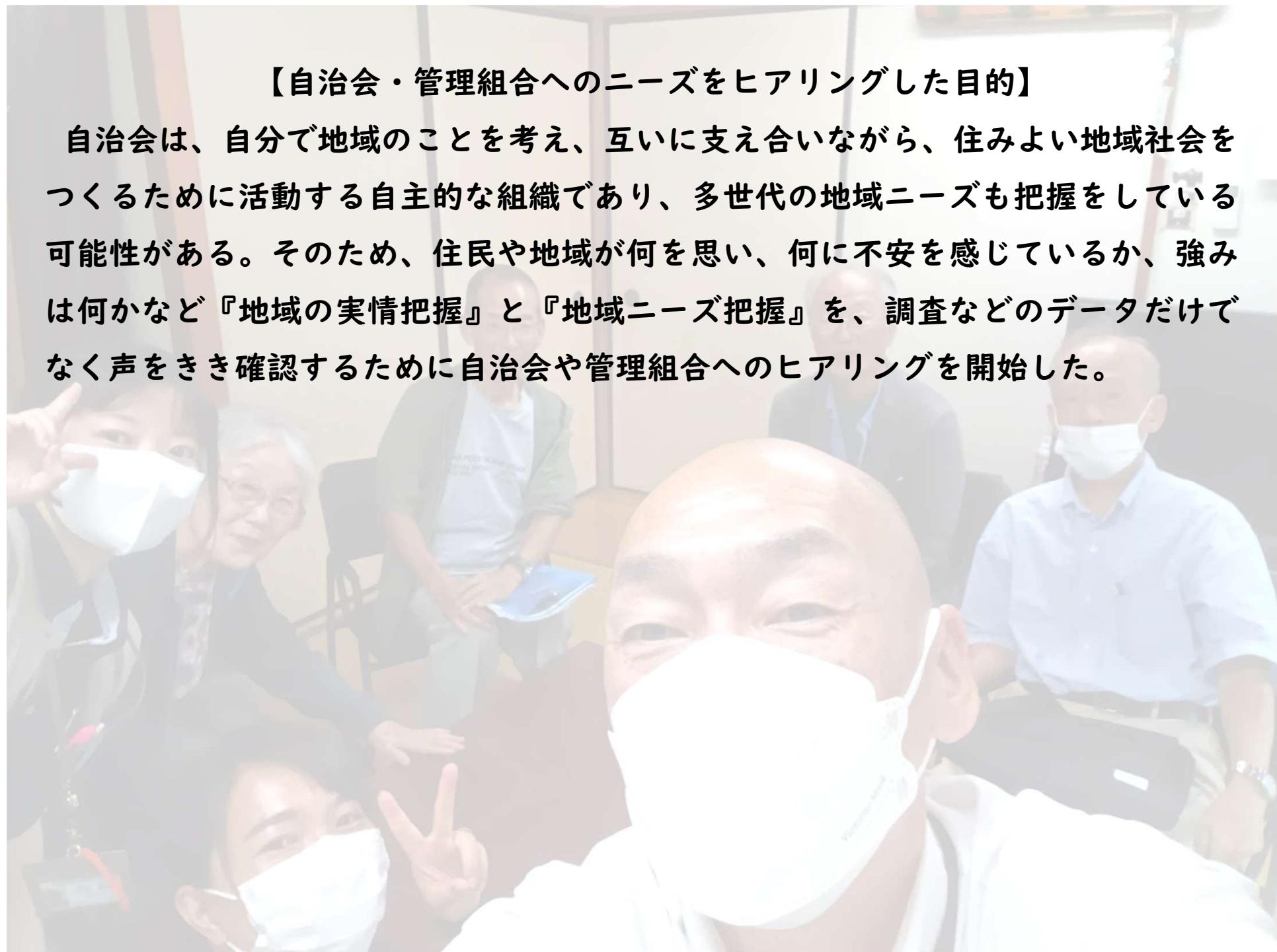


### 3, 情報提供

- ①5つのプロジェクトの進捗と今後
- ②自治会・管理組合からヒアリングしたニーズ報告
- ③今後の第1層生活支援体制整備事業の動き

## 【自治会・管理組合へのニーズをヒアリングした目的】

自治会は、自分で地域のことを考え、互いに支え合いながら、住みよい地域社会をつくるために活動する自主的な組織であり、多世代の地域ニーズも把握をしている可能性がある。そのため、住民や地域が何を思い、何に不安を感じているか、強みは何かなど『地域の実情把握』と『地域ニーズ把握』を、調査などのデータだけでなく声をきき確認するために自治会や管理組合へのヒアリングを開始した。

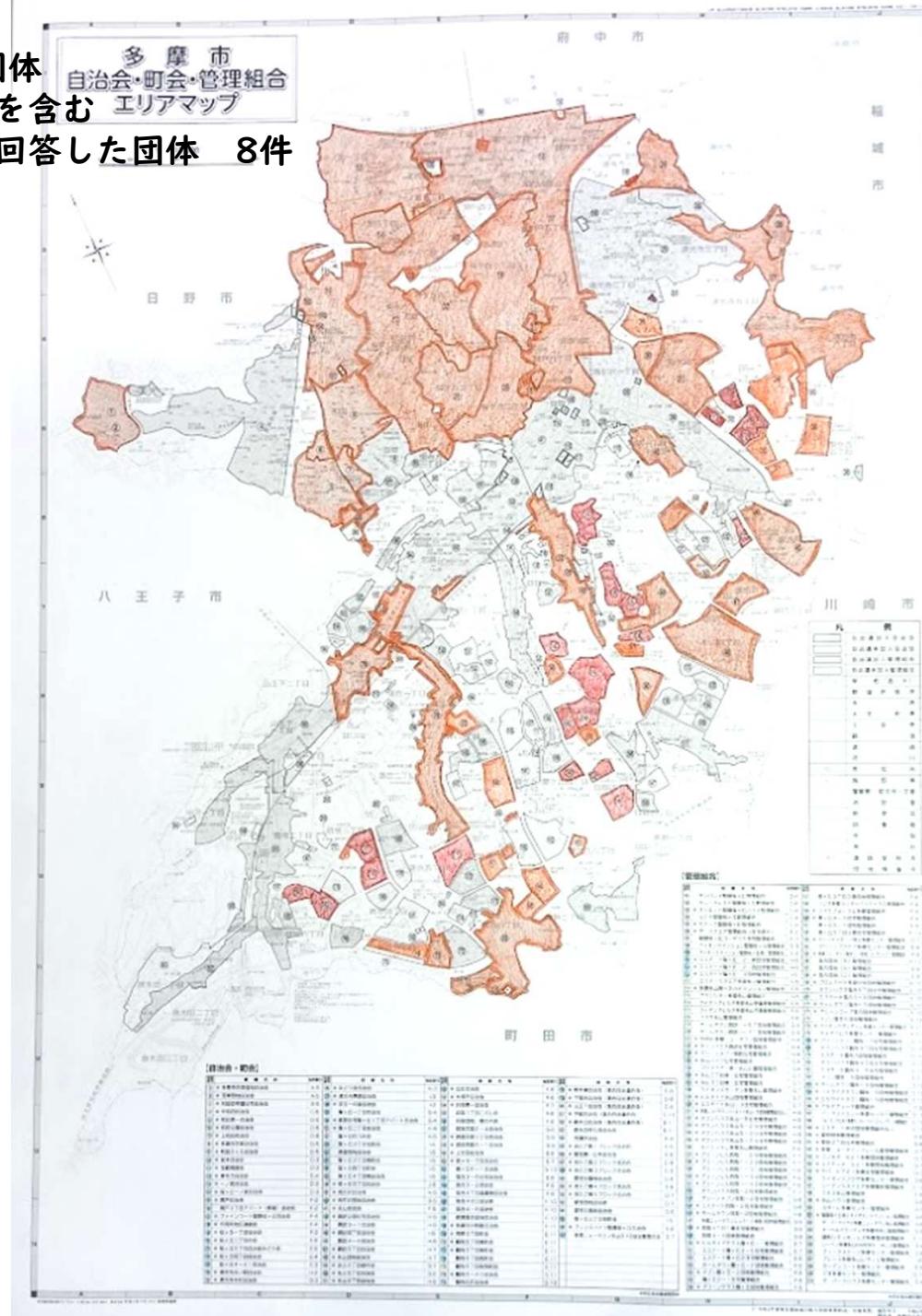


期間（2024.5～2025.8.31）

対象 自治会・管理組合等 81団体

※地区自治連合会や集会の2か所を含む

電話で訪問拒否・困っていないと回答した団体 8件



## わかったこと

- ・地域(自治会単位)での地域課題や自治会の活動状況の差がはっきりとある。
- ・特に高齢者や障がい者、認知症の方や外国籍の方など要配慮者の情報を把握できている自治会は少なく、困りごととしてとらえ切れていない自治会と、しっかり把握できている自治会の差が大きい。
- ・コロナをきっかけに、多くの自治会がイベントなど集会を縮小したままであり、それが活動困難に拍車をかけている。
- ・ICTの活用を進めている自治会や、今までの運営にこだわらない方法を取り入れている自治会は若い層をやや取り込み始めており、活性化しつつある。(模索が進んでいる)
- ・課題を捉えて活動していくても、高齢化・資金面・書類の煩雑さでの苦労があり、継続・継承が難しい。
- ・課題がようやく顕在化し始めてきている団体が多い。

## 提起～次へのアクション～

①高齢期における地域のかかわり方・コミュニティへの参加の重要性などを**多世代に啓発**

②コミュニティの弱体化を防ぐサポート

・自治会・管理組合加入の**メリットの整理・見える化**の支援

・**事務支援の整備**

※プロボノ等活用し、メリットの可視化・ICT化・補助金等自治会・管理組合で苦慮している事務仕事の支援体制の構築など

③高齢期にも継続できる**地域コミュニティの検討（強化）**

・自治会・管理組合を別の形（防災組織など）で強化

・自治会・管理組合とは別のコミュニティの検討など

本日の資料はこちらからダウンロードできます →



### 3, 情報提供

- ①5つのプロジェクトの進捗と今後
- ②自治会・管理組合からヒアリングしたニーズ報告
- ③今後の第1層生活支援体制整備事業の動き

## 1) オープンカンファ



2月開催予定です。  
ご興味ある方は  
ぜひご参加ください

似たような課題を抱える包括事例を通して  
そこに暮らす住民や多様な団体と、  
共有(知る)・考える・少し動くためのカンファレンス

## 2) まるっと健幸フェスタ

実行委員  
大募集中です♪

啓発したいことはたくさんある…

楽しく参加したら…ちょこっと「知る」と「体験」ができる

そんなイベントを、まるとのみなさんと！？今年は「移動」をテーマに

本日の資料はこちらからダウンロードできます →



休憩

本日の資料はこちらからダウンロードできます →



#### 4, 本日のテーマを基に意見交換とアイディア交換

- 一緒にできそうなこと
- 取り組みのアイディア